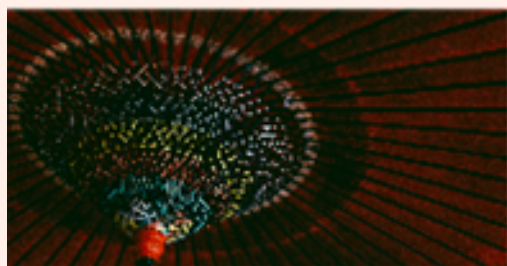


第1回 日本文化研究所 研究会



発表者：

宮澤安紀（日本文化研究所PD研究員）

発表題目：

「国際比較から見る現代日本の葬送文化——
自然葬法の事例から」

2021年5月20日(木)

18:30～20:30

Zoomを用いたオンライン開催

発表要旨：

発表者は、現代社会で広まりを見せている環境に配慮し遺体／遺骨を自然に還す方法（「自然葬法」）の世界的な普及が何を意味するのかを、イギリスの「自然埋葬（natural burial）」と日本の「樹木葬」が生起した社会的文脈や実施者への調査から宗教社会学的に考察してきた。自然埋葬と樹木葬はどちらも1990年代に新たな葬法として登場し、その背景には伝統的生死観の衰退とエコロジカルな生死観の台頭が指摘されてきた。こうした見方に対し、本研究では現代の葬送が形成されてきた歴史的背景にも目を配りながら、一見した「類似」の背後にある根本的な差異を指摘し、必ずしも近代化の圧力が我々の死の扱い方を均質化させるわけではないことを論じる。

参加希望の方は、5月18日（火）までに以下のフォームから申し込みをお願いします。締切後、ご回答頂いたメールアドレスに、研究会のZoomセッションへのリンクをお送りします。

<https://forms.gle/uedSSmzQWgHfcCbo6>

主催：國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所

